

ぼくたちわたしたちの中ノ川

はじめに

私達は一学期から中川の事について、調べたり、実験したりしてきました。同じ勉強をしているという事で、**夏休みの年生とも交流**しました。いろいろな事を学んだり、調べたりするために、**水害の夜、朝の市役所の夜、三重県立大学の夜**に、あせわになりました。また、今と昔のちがいを調べるために昔の中川の事を地元の人の聞き取りをしました。このお話を聞いて、調べた事を考えたりしようかと思いました。

中ノ川の生き物

ぼくたちは、一学期に学校前、下庄方面にたんけんに行きました。

たんけん(学校前)	たんけん(下庄)	たんけん(3丘)
学校前は油が流れていたりカニが死んでいたり、青ミドロがたかさんありました。ぼくたちは中ノ川の本がよごれてきたのではないかと心配しました。	下庄に行った時は魚のちぎれやシジミが大量にはせいしているところがありました。ほこうきれいなたなあと思いました。	天名小の子やすしか水産直のたなと、いしにたんけんしてタナゴやヨシノホリスジエビ、何種類かのヤゴがいました。

数の少ないキイロヤマトンボがいたよ。

昔の中ノ川

昔と今では、水が流れるスピードが違います。昔の遊歩道や今と昔のちがいを調べました。

中ノ川での遊歩道

昔は昔ほどなごき中ノ川で遊んでいたのでしょうか。昔は毎日中ノ川で泳いでいたそうです。水は泳げないといふけれど、その昔は川にモフリとかさかして遊ぶのは、セーサーやミズゴケをさかして遊ぶのをやめて、水たまりやカニはたまりにして遊んでいたんだそうです。

今と昔の中ノ川のちがいを

昔の中ノ川は、急な流れの速さもちがっています。深さは1メートル、流れの速さはゆっくりだったそうです。川のまわりは昔は土の川ばかりだったけど、今はコンクリートでかまわれているところが多いです。昔は川がきれいだったけど、今は汚れているところが多いです。

昔の生き物の種類

・メダカ	・ヤメカサギ
・カワニナ	・ドンゴ
・ニズミ	・サメドリ
・フナ	・センテラ

何で？ するの？

昼生の中ノ川には、いっぱいごみがおちていました。たとえ、べんとうのガラやカンがおちていました。また、ない生き物が死んでしまうので、だめだと思います。なぜみんながごみをするか不思議に思いました。だから私達は中ノ川をきれいにしたいです。

海とつながっている中ノ川

昼生の中ノ川は、上流なので、流水がはやく流れます。交流の時に、天名のほうから、流れがゆるく、土が降りて、はばが流れて、逃げに、深くなったり、あさくなったりして、あんまり草がなくて、コンクリートで囲まれて、海のすなと、でも、たまに、また、流れがゆるくなったり、はばがふたりに、生き物について、調べると、海から川へ、魚、カニなどが、泳いで、来ます。ボラ、カモシガニなどは、海から川へ、泳いで、来ます。海とつながっていることが、あらためて、分かりました。

わたしたちの願い

わたしたちは、生き物が、いっぱいになってほしいから、川が、きれいになってほしいです。そのためには、わたしたちが、ゴミを捨てないように、していきたいです。例えば、こんなと、糸で、川は、きれいに、!!
 ○合成せんざいを使わない
 ○お風呂の水で、せんざいをする。
 ○生ゴミを、たいひにする。

三重県 亀山

昼生小学校 4年